

2011-10-25

地域別市場環境と 見通しについて



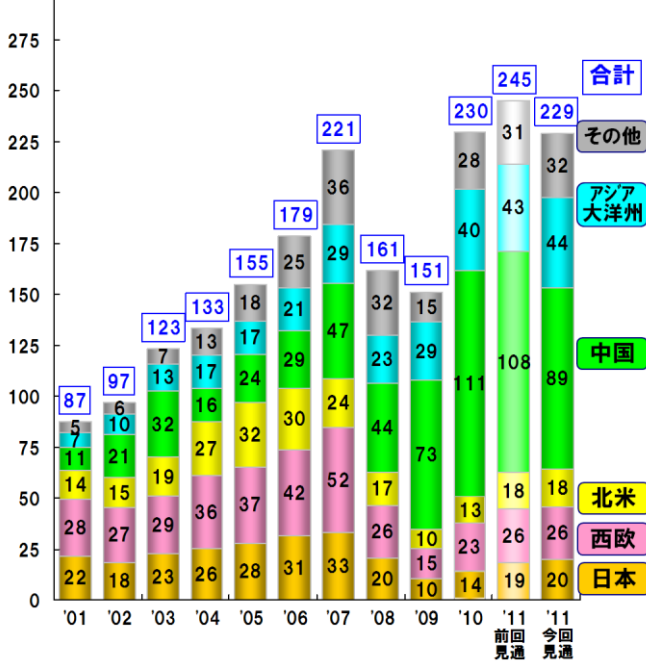
日立建機株式会社

執行役専務
三原 新一

油圧シヨベル世界需要推移

千台
300
275
250
225
200
175
150
125
100
75
50
25
0

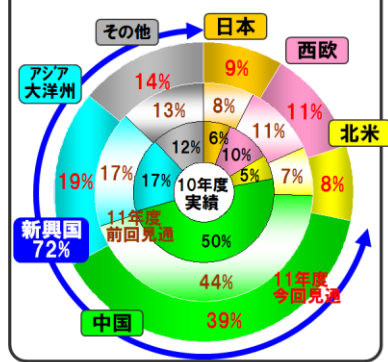
*当社推定 *中国国産メーカー含まず
(複写・転用は御遠慮下さい)

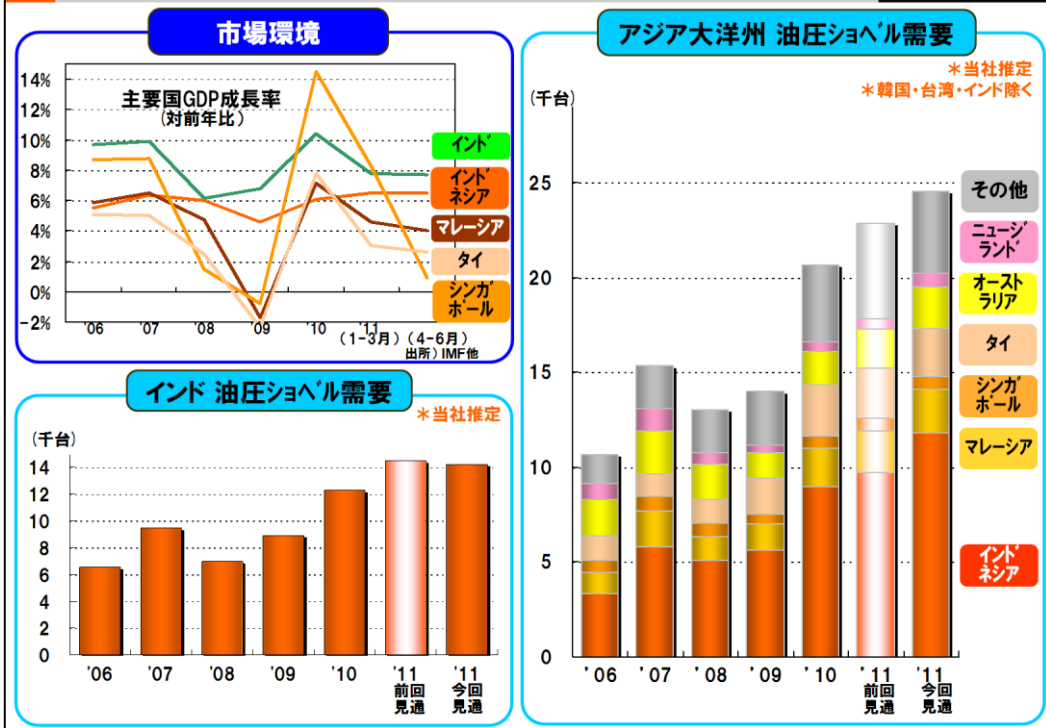


地域別需要対前年増減

	'10実績	'11今回	'11前回
日本	+39%	+40%	+30%
西欧	+57%	+11%	+11%
北米	+32%	+46%	+44%
中国	+53%	-20%	-3%
アジア・大洋州	+38%	+11%	+8%
その他	+90%	+13%	+10%
合計	+52%	-0%	+7%

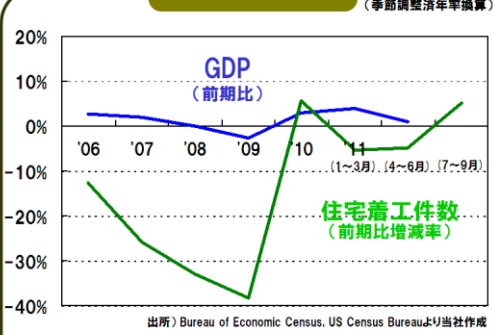
地域別需要構成



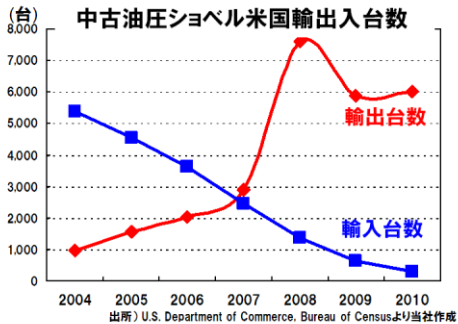


- 主要市場であるインド、インドネシアは引き続き高いGDP成長率の維持が見込まれる。
- アジア・大洋州の油圧ショベル需要は、堅調な成長を続けている。
11年度上期は前年同期比131%。11年度は117%の見通し。
- インドの油圧ショベル需要は、11年度上期実績は前年同期比130%、11年度は116%になる見通し。

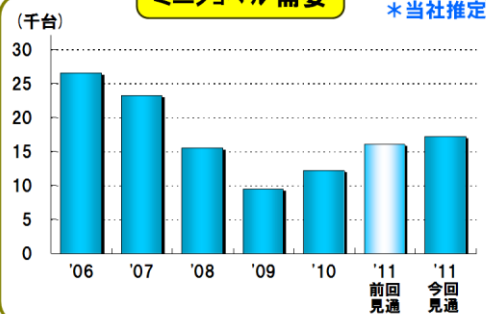
市場環境



油圧ショベル需要



ミニショベル需要



- GDPは2010年からほぼ横ばいに推移。住宅着工件数は2010年度後半以降低減傾向に推移したが、直近では対前年でプラス。
- 米国からの中古油圧ショベルは、07年頃より輸出量が輸入量を大きく超過し、米国内の稼働台数が減少傾向にある。
稼働率の上昇を受け、レンタル会社が保有資産の拡大と更新を進めた結果、油圧ショベルの需要台数は増加基調にある。
- 油圧ショベル需要は、11年度上期は前年同期比147%、11年度は146%の見通し。
- ミニショベル需要は、11年度上期は前年同期比135%、11年度は140%の見通し。

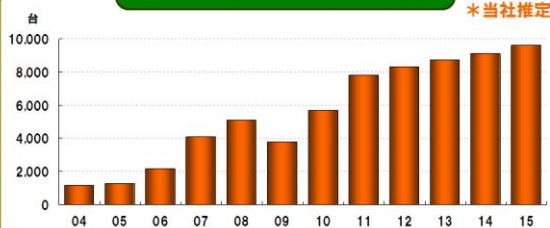
ブラジル合併会社設立

会社名 : Deere-Hitachi Máquinas de Construção do Brasil S.A.
合併設立: 2011年10月
敷地面積: 200,000㎡
資本金 : 5,000万USD(約40億円)
生産開始: 2013年7月頃
生産能力: 油圧ショベル 約2,000台/年

John Deere社との連携によるメリット

- ・ 合併によるリスクシェア、建設機械フルライン供給体制の確立
- ・ ブラジルにおけるJohn Deere農機部門のプレゼンスを活用
- ・ ディアの金融子会社: Banco John Deere S.A.の活用
- ・ John Deere農機ディーラー、調達網の活用

ブラジル油圧ショベル需要



所在地: ブラジル連邦共和国
サンパウロ州インダイアトゥーバ市



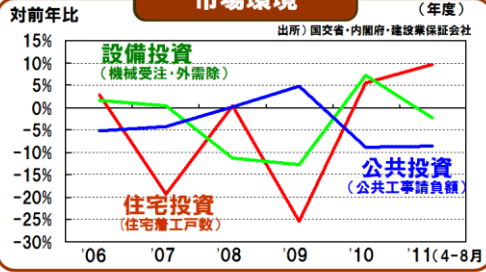
- 建設機械需要が急成長しているブラジル市場に本格的に進出する為、ディア社と販売・製造合併会社を設立。当社が油圧ショベルの技術を提供し、合併会社が現地生産を行い、マーケティングは、農機で現地に強固な地盤を持つディア社が担当する。

- メリットは大きく次の2点。

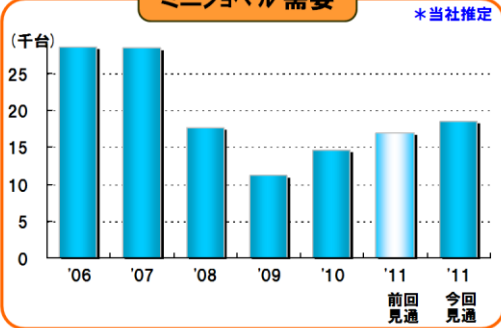
- ・ 合併によるリスクシェアを行い、建設機械フルライン供給体制の確立
- ・ ディア社のプレゼンス/ディーラー/金融子会社/調達網の活用

- 油圧ショベル需要は、11年度は前年同期比138%、15年度には9600台を見込んでいる。

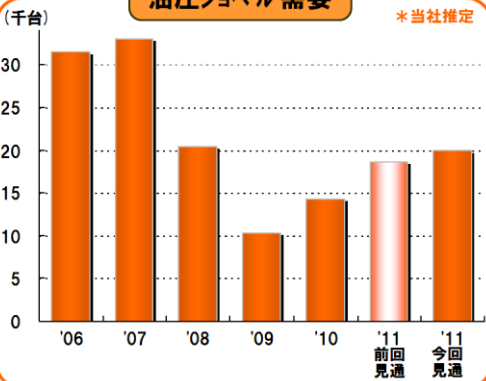
市場環境



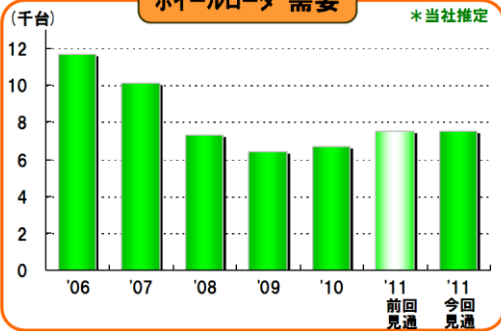
ミニショベル 需要



油圧ショベル 需要



ホイールローダ 需要



● 市場環境は、公共投資は7月まで低調に推移したが、8月から対前年を上回り、今後は震災復興の補正予算による増加を予想。住宅投資も前年比プラスで推移。

● 11年度上期油圧ショベル需要は前年同期比148%。11年度は140%の見通し。

● 11年度上期ミニショベル需要は前年同期比140%。11年度は127%の見通し。

● 11年度上期ホイールローダ需要は前年同期比117%。11年度は112%の見通し。

(東北)震災関連

膨大な量のがれき処理が必要

	がれき量	搬入量	搬入率
岩手県	4,755	3,546	75%
宮城県	15,691	8,762	56%
福島県	2,280	1,067	47%

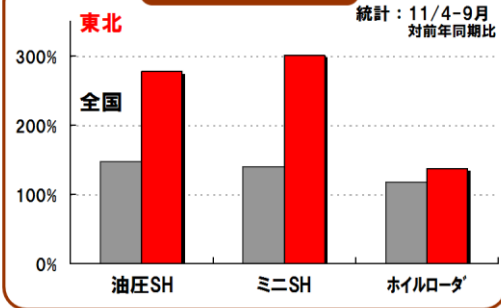
11/10月環境省データ、単位は千t



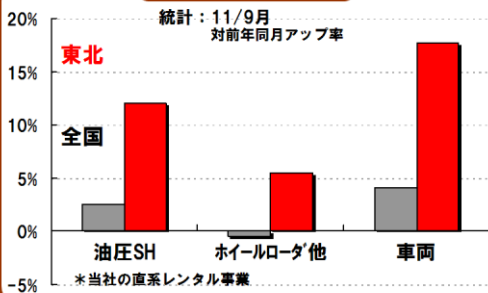
今後の動向

- 搬入済のがれき処理
- 解体案件の増大
- 緊急復旧から復興土木へ

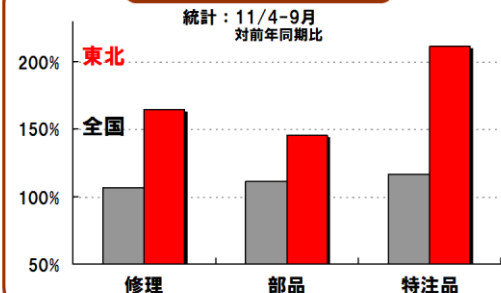
3製品需要



レンタル稼働率



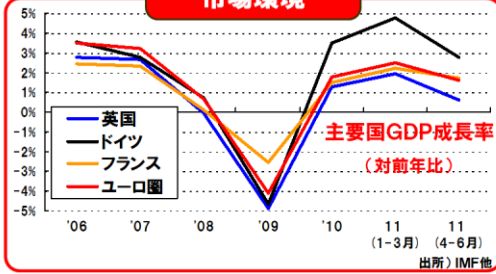
部品・サービス売上高



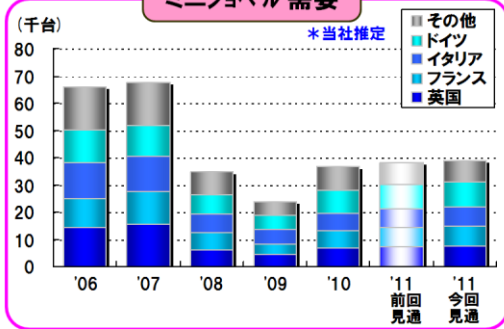
● 津波により倒壊した家屋等のがれきの、仮置場への搬入率はまだ5~7割と低く、油圧ショベル等を用いた搬入作業が継続。さらに、今後は仮置場へ搬入したがれきの処理、新規の解体案件の増大、復興土木工事の本格化等が発生する見込。

● 4-9月累計の油圧SH、ミニSH、WLの3製品需要、レンタル稼働率とサービス売上高も東北を中心に対前年で伸びている。

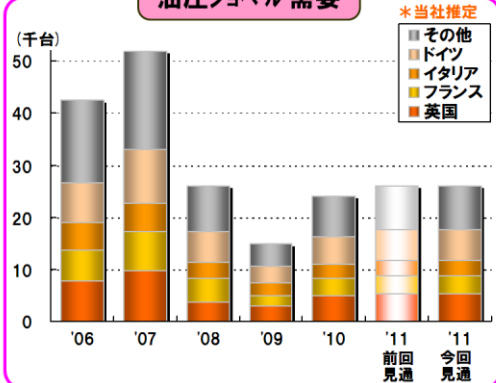
市場環境



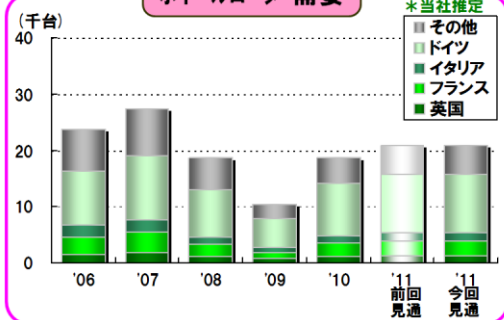
ミニショベル需要



油圧ショベル需要

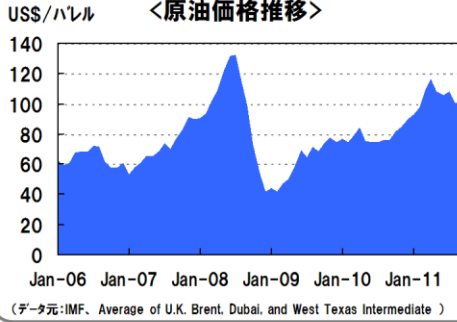


ホイールローダ需要

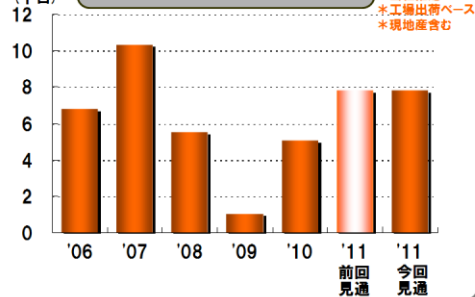


- 市場環境は、財政危機に直面する国(ギリシャ・スペイン・ポルトガル)で停滞している。ドイツ、フランス、英国を始めとした主要国でも景気の回復ベースが鈍化。
- 油圧ショベルの11年度上期需要は前年同期比112%と堅調。11年度は111%の見通し。
- ミニショベルの11年度上期需要は前年同期比115%、11年度は107%の見通し。
- ホイルローダの11年度上期需要は前年同期比128%、11年度は111%の見通し。

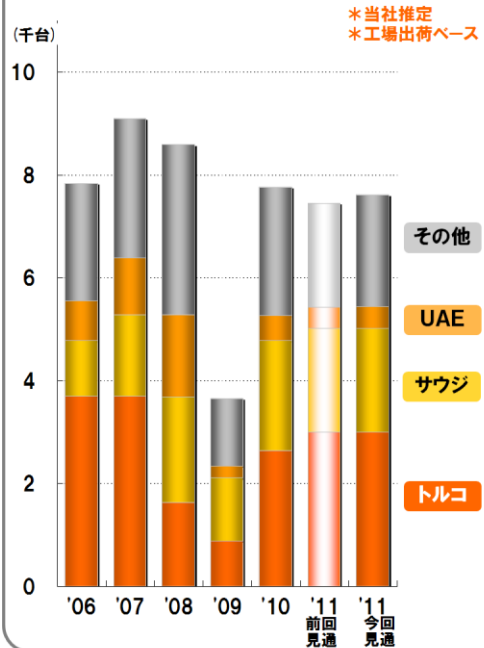
市場環境



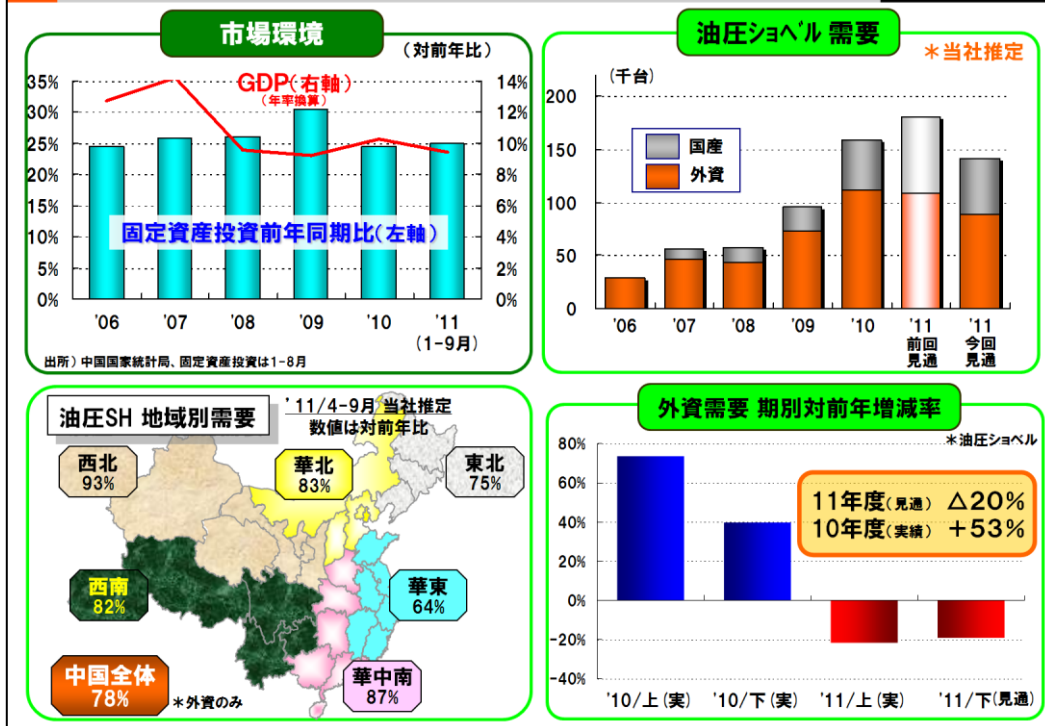
ロシア油圧ショベル需要



中東市場油圧ショベル需要



- 市場環境は、原油価格が世界景気の減速懸念を受けて下落局面もあった。直近も引き続き不透明。
- 油圧ショベル需要は、ロシアは引き続き好調で11年度上期は前年同期比180%、11年度は155 %の見通し。
- 中東市場は概ね昨年横ばいの見通し。

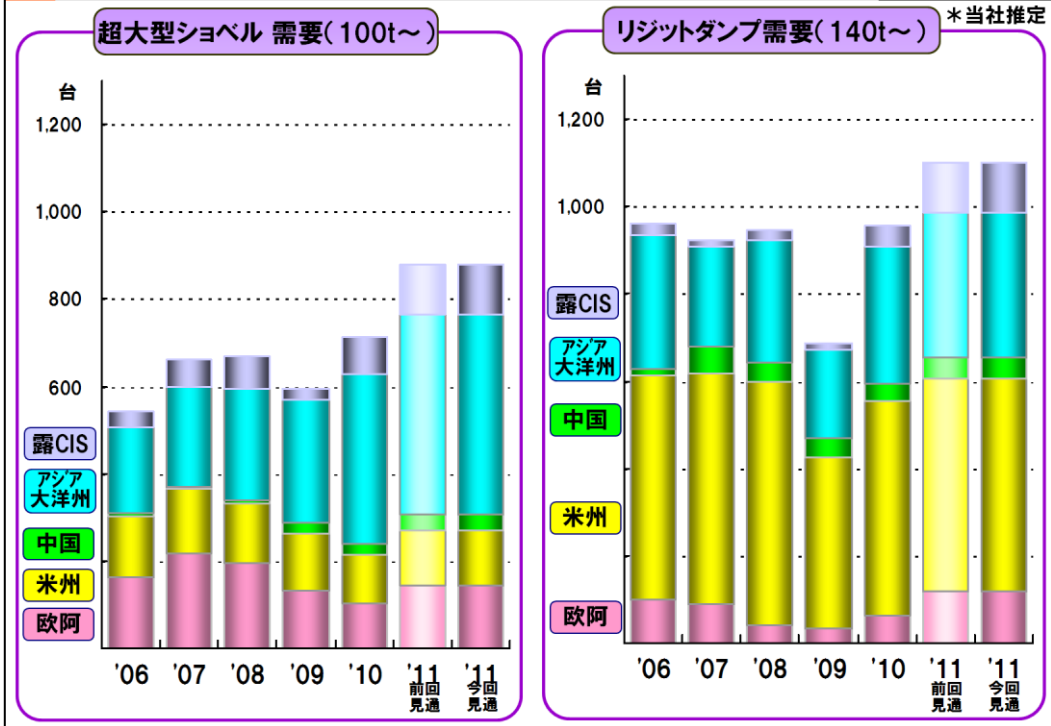


- 中国市場環境は、銀行の預金準備率の引き上げや金利の引き上げ等、政府によるインフレ対策が行われた影響があったが、1-9月のGDP成長率としては9.4%となり、3四半期連続で伸び率が鈍化した。
- 中国の油圧シヨベル需要(外資メーカ)は、11年度上期累計は前年同期比78%。地域別には特に沿岸部の華東と東北が低調。
- 12年春以降に需要がやや上向くと予想。11年度需要は前年同期比80%の見通し(対前年増減率 $\Delta 20\%$)。

<マイニング機械>

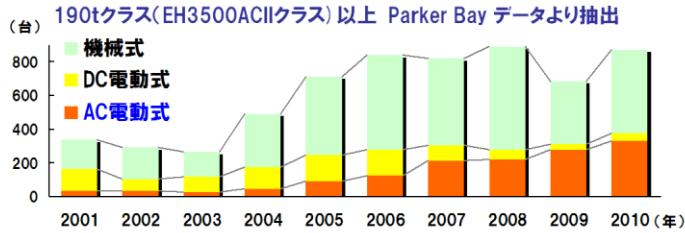
HITACHI

11



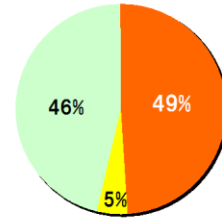
- 11年度は既存市場(米州、オースト、インドネシア、南ア)に加え、中国、ロシアCIS等の新興市場の需要の伸びも期待。
- 11年度の超大型油圧ショベル需要は前年同期比123%の見通し。
- 11年度のマイニングトラック需要は前年同期比115%の見通し。

■ 電気式(AC/DC)と機械式トラックの需要推移



マイニングトラックの需要は機械式からAC電動式へ移行

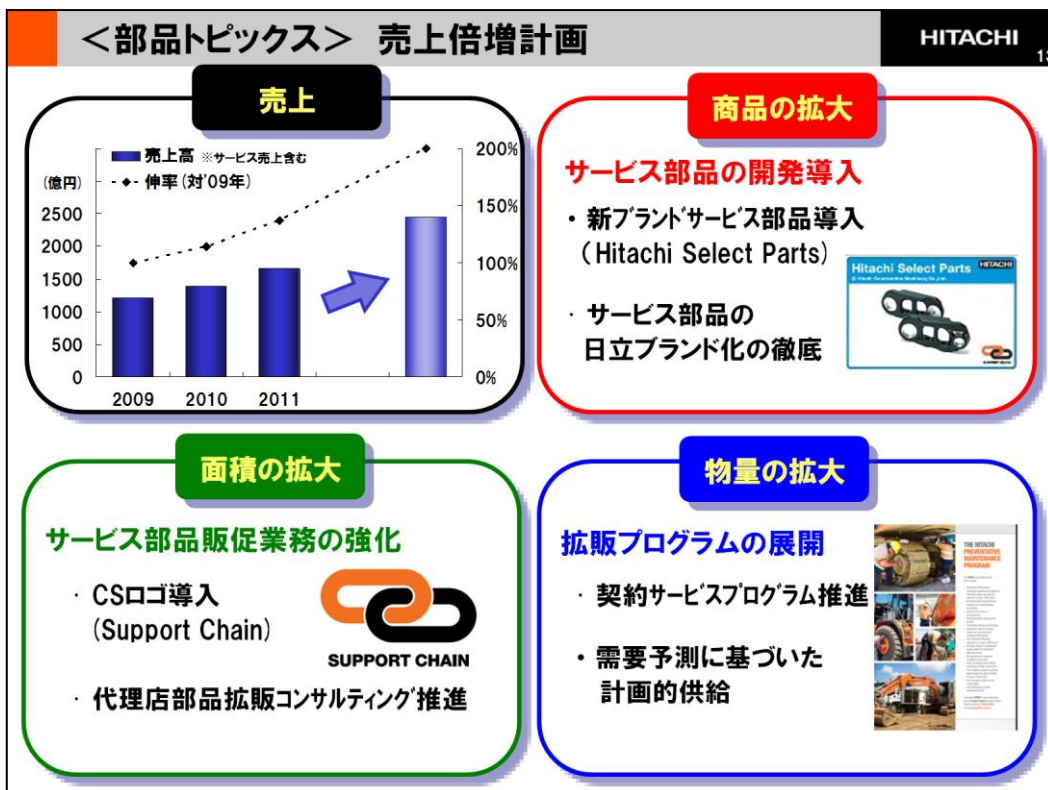
2011年(1月-9月)
電気式(AC/DC)と機械式の比率



■ 日立AC電動式トラックの進化



- 機械式やDC電動式に比べ、メンテナンス性能等が優れたAC電動式トラックの需要は年々増加しており、2011年1-9月には全需要の約半分を構成。
- 当社は、EH3500/4000ACIIに続き、2012年度にはEH5000ACIIを発売し、全てのクラスのマイニングトラックに日立製のACドライブを搭載する。
- これら製品は横滑りを防止するスリップ・スライド制御機能、トロリーオプション機能等、電動式ACトラックならではの機能を搭載しており、顧客から高評価を獲得しています。



- 11年度の部品売上高は、09年度比137%となる予定。売上高の倍増を目指し、各種施策を展開。
- 商品の拡大：
新ブランドサービス部品(日立セレクトパーツ)の導入により、サービス部品の日立ブランド化を徹底する。
- 面積の拡大：
販促業務の強化策としてカスタマーサポート活動全般に使用するロゴを導入。代理店部品販売体制強化の為のコンサルティングを推進。
- 物量の拡大：
契約サービスプログラムの推進。機械稼動情報に基づき需要を予測し、計画的な部品供給と提案型部品販売を推進。

END



お問合せ：日立建機株式会社
経営管理本部 広報戦略室
平野 耕太郎

TEL : 03-3830-8065
FAX : 03-3830-8224
